

事業というものは真剣に見直しながら、歳入歳出というものを慎重にチェックしていくということが大事だというふうに私も考えますので、そういったこともこれからもお聞きをいたしますので、一つ、きょうは本当に、市長はきょうの答弁よかったですよ、本当に。対峙して話しますと、なかなか厳しい状況になりますけれども、本当によかったなど、新年度に向けてもそういった態度でやっていただければありがたいというふうに思いながら、これで質問を終わります。

○**渋谷佐輔議長** 次に、政党代表質問を行います。

今泉春江議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 順位4番、議席番号8番、今泉春江議員。

(8番今泉春江議員登壇)

○**8番 今泉春江議員** 日本共産党の今泉春江でございます。

内容市長に2件、平田教育長に1件の質問と提案をいたします。前進できる明確な答弁をお願いいたします。

1、まず、第一に、市長に市庁舎建設について、市提案の問題点を指摘し、新たな提案をいたします。

市庁舎建設に伴う地方自治法第4条第1項の制定のために臨時議会が開かれましたが、結果は9対7ということで、採択にはなりません。この結果は、新聞やフェイスブックなどで市民が知ることになりましたが、市民の中には反対した議員に対し、さまざまな批判の声が寄せられていました。しかし、この批判は、建設に対する詳細な中身をわからないためだと感じました。この議案は、市庁舎の場所を設定するためのものであり、市庁舎の建設に賛否を問

うものではありません。しかし、多くの市民は、反対した議員は建設に反対だと勘違いしています。そうではなく、場所が長井駅の敷地では問題があり反対なのだというものです。建設は必要と全議員が考えています。ここは声を大にして申し上げます。

また、市庁舎建設整備案が詳しくこのたびのあやめR e P oで紹介されていますが、それでもグンゼの中に市役所ができるのに、なぜ反対するのかなどと勘違いする方も大勢おり、市民への説明が不十分であると強く感じました。

この議案は、3月議会最終日に再提案と報告がありましたが、その前にこの問題について、共産党としての見解をお話しさせていただき、議案提案日までに課題や問題が解決できることを願って質問します。

長井市の市庁舎は、昭和33年に建設され、60年になると報告されています。平成26年度に耐震改修工事を行いました。災害対応で継続使用が可能な防災拠点としてふさわしい耐震レベルに至っていない。新たなハザードマップで現在の場所は浸水地域と示され、さらに、全庁的な施設の老朽化や、現在6カ所に市庁舎機能が分散しており、利便性の低下などの課題が指摘されています。

そこで、このたびの市町村役場機能保全事業の国の支援を受け、市役所を平成32年3月まで建設し、完成したいというものです。

今まで示された場所の候補地は、現在の場所、ヨークベニマル跡地、駅前と3案が示されました。議会の中に市庁舎等建設調査特別委員会が立ち上げられ、何回か会議が開催されました。今回の議案についても話し合ってきましたが、一致した結論は出ておりませんでした。

ところが、1月19日の全員協議会で、市長から、場所は駅前にしたいと突然提案があり、2月5日の臨時会での審議となりました。しかし、余りにも唐突な提案で、たった18日間での判断

は難しいものでした。

私たち共産党は、このことが長井市のあり方、市民の暮らしにかかわる重大な案件であると考え、市庁舎建設の条件とした、1、市民の利便性、2、防災拠点である安全性、3、他の施設との関連性や整合性、4、期限つきの建設、交付税の財源の問題などをもとに、多くの市民に意見を求め、さらに共産党の中での会議を臨時議会まで2回、そして、臨時議会も傍聴して、その後も集会や会議を開き議論を重ね、意見をまとめました。

まず、申し上げることは、上記の4点を考え、共産党として市庁舎建設は必要であるとの結論が出ました。しかし、共産党として、市庁舎の建設場所は、私が12月議会で申し上げたように、市庁舎建設は中心市街地活性化のためにヨークベニマル跡地にすべきであると考えます。なかなか進まない中心市街地の活性化は民間の開発が理想としても、その実現について進捗状況が見えない今、市が市庁舎建設場所としてもっと積極的にかかわることが必要とずっと考えています。ヨークベニマル跡地に市役所が建設されれば、人が集まり、そこには商店もできます。本町の道路拡幅改修も進んでおり、交通の利便性もよく、何ととっても、民間の企業と違い、不景気だから撤退などということはなく、市民のために何十年もそこで役割を果たしていくこととなります。ところが、この場所は、民間の開発があるとの情報があります。しかし、今も動きがありません。市庁舎建設の候補地として可能性は残っているのではないのでしょうか。

もしこの場所が民間開発となり、提案のあった駅前しか場所がないということであるならば、何が問題となり、どう解決すべきでしょうか。駅前案について、最終日の再提案と聞いていますが、この件に関し、私から次の質問を行い、新しい提案をします。

まず、問題点を申し上げます。

1、ヨークベニマル跡地は、民間の開発が本当にあるのか。候補地として不適當なのか、その理由は何でしょうか。

2、山形鉄道の敷地である場所に市庁舎を建設する場合、その場所は市庁舎の建設場所として最適か、問題点はないのか伺います。

1つ、長井駅の場所は、駅の駐車場として残すべきと思います。現在、駅の駐車場として使用しているところは、山形鉄道の社員の方の駐車場として使用、また、ギャラリー停車場のお客さんや高校生の送り迎えの父兄の車や切符を購入の方、売店に買い物に来たお客様、さらに観光客のバスなどが駐車するため使用しています。さらに、駅西にある親水公園に行くにも車を駐車します。このように常時20台以上は駐車場として利用されています。このように駐車場として必要不可欠な場所ではないのでしょうか。

2つ、また、この敷地はウナギの寝床のように細長く、市庁舎の敷地としては使い勝手が悪いものです。先日も長井駅に行きましたら、雪のため駐車スペースが狭く、30台近くの車が難儀していました。現在の駐車スペースとしても狭いところに市庁舎の建設はさらに難しいと思います。市庁舎の形も細長くなり、使い勝手が悪く、市民の利便性は悪いものになります。

3つ、隣の敷地と段差があり、段差をどのように解消するのか。今どきバリアフリーが当たり前のときに、とても適切とは思えません。

4つ、河川もあり、つけかえなどが必要になります。どのようにお考えでしょうか。

3、駐車場として購入するグンゼの敷地は適切なものか伺います。

この駐車場として購入する場所は細長く、市庁舎に対しL字型で、出入り口となるグンゼ通りの端にとめると市庁舎までかなりの距離ができ、市民には使い勝手が悪い形になっています。サービスの低下となります。

現在の市役所の駐車場の状況を見ても、長い

間、狭く使いづらく不便でありました。後でできた向かいの駐車場は道路を横断してこなくてはならず、高齢者や障害者などには大変不便です。このことに鑑みても、建物のすぐ前に広い駐車場が必要です。市民の利便性を第一に考えるべきです。まず、ここまで大きく3点、その中で詳細な5項目の問題について、どのようにお考えかお聞かせください。

次に、4番目、上記の問題、課題を解決するために新たな提案をします。

1つ、市庁舎建設は、市民の利便性を第一に考え、グンゼ敷地を購入し、そこに建設してはいかがでしょうか。

2つ、山形鉄道の敷地は市庁舎建設に使わず、12月15日提出の基本計画の概算事業費の算定状況の資料に示されてる山形鉄道への補償費2億円を駐車場の予定地と一緒にグンゼの土地購入に充てます。そうすれば、市庁舎も平らな場所に建設でき、駐車場もすぐ前に整備可能になります。複合施設などの計画もありますので、そのことを考えてみても、グンゼの土地を計画的に有効的に無駄なく使えて、市民の利便性は格段に向上すると考えます。河川のつけかえも必要ありません。バリアフリーも可能です。

この案は、予算が大きくふえるわけではありません。また、本町の中心街に近く、市の活性化につながります。市庁舎をどこに置くかは、長井市の発展に大きく影響します。60年、100年先を見据えた市庁舎建設をお考えいただき、建設を進めていただきますよう強く要望いたします。

以上、私の提案を申し上げ、市長のお考えを伺います。

次に、大きい2番目です。

次に、18歳までの医療費助成の拡大について市長に伺います。

さて、長井市にとり、少子化対策は待ったなしの重大な問題です。このたびの施政方針でも、

昨年に引き続き子育て支援の取り組みに力を入れていくと強調されています。大変重要なことです。

そこで、大きな子育て支援になる18歳までの医療費の助成について質問します。

私は、一昨年9月議会と12月議会、昨年の3月議会と、何度か18歳までの医療費助成無料化を要望してきました。山形県内では、全ての市町村で中学までの医療費が無料となりました。長井市では、県内の中でもいち早く実現され、子育ての大きな支援となりました。

そこで、昨年の3月議会で質問したときに、29年度から18歳までの医療費を無料にするところが、白鷹町、飯豊町、小国町となったことを申し上げ、そして、未就学児の医療費無料化を実施している市町村に対する国のペナルティーが廃止になることで、その分を18歳までの医療費無料化に充て、助成の拡大をしてはどうかと質問いたしました。しかし、市長は、ペナルティー分はごくわずか120万円ぐらい、もし無料化にすると1,400万円ほど必要であると答弁され、実現には至りませんでした。しかし、市長は、前向きに検討しなくてはならないとも答弁しておりました。

2017年12月の参院厚労委員会で、我が党の倉林明子議員が、2016年の12月の厚労省の通知で、ペナルティーの一部解消で生じた財源は、さらなる医療費助成の拡大でなく、他の少子化対策の拡充に充てることを求めると要請していることを盾に拒否している自治体に対することの質問に、厚生労働省は、自治体がさらなる医療費の助成の拡大対象を禁止するものではない、自治体みずから適切に判断していただくことを想定した通知と答弁しております。このことを考えても、長井市でもペナルティーの一部解消で生じた財源で18歳までの医療費の助成を行ってはいかがでしょう。

長井市で子育てをしているお母さんたちに話

を聞きますと、白鷹町や飯豊町のように高校生までの医療費の無料化を長井市でも実現してほしい、それが一番の願いですと、皆さん口をそろえて話されます。何よりの子育て支援と思います。子育て世代や子供たちが魅力を感じるまちは、医療費無料化を18歳まで拡充し、日本一幸せに子育てできるまちにすることです。ことしこそ医療費無料化を18歳まで拡充するよう強く要望いたします。市長のお考えを伺います。

市長には、大きく2点について質問いたします。明確な前向きな答弁を求めます。

次に、教員の長時間労働の改善について教育長に問います。

全国の学校現場では、教員の長時間労働が大きな問題になっています。共産党の畑野衆議院議員が、2月19日の衆議院予算委員会で、過労死ライン、月80時間の残業を超えて働く教員の悲鳴を代弁し、教員の定数の抜本増を強く求めたことが「しんぶん赤旗」に掲載されておりました。畑野議員は、子供たちが下校するまで自分の自由になる時間など全くない、子供にとっての休み時間は教師にとっての休憩時間ではない。子供が下校した後も会議や研修が入り、授業準備や宿題の点検、親への対応など勤務時間後に行っているなど、教員の声を紹介し、働き方改革というなら国が責任を持って教員をふやし、1学級の子供の数を少なくしてほしいと強く求めました。

文部科学省の調査では、過労死ラインを超える教員の割合は、小学校で33.5%、中学校で57.6%、持ち帰り残業を含めれば、小学校で57.8%、中学校では74.1%が過労死ラインを超えると指摘する研究者もいると言っています。

畑野議員は、この長時間労働の背景は授業時間の増加にあり、学習指導要領改訂で授業こまをふやしたのに、それに見合う定数増をせず、教員1人当たりの持ちこま数がふえていることが原因であると、文部科学省にその改善を求め

ました。

長井市では、昨年10月30日に文教常任委員会が、小学校、中学校の各校長先生と教育委員会との意見交換会を実施しました。校長会から平成30年度の学校予算についての要望案が提出され、その中では、学校支援員の増員、特別支援教育にかかわる研修体制の充実、研究費の増額や学校図書購入費の増額、経常経費の増額、プール監視員の2名体制など9項目の要望や、さらに各学校の現状なども詳しくお話いただき、文教常任委員からも質問や意見も出され、大変充実した貴重な時間となりました。

その中で特に問題になったのが、発達障害の子供が小学校では50人以上もいて、そのため担任の先生にかかる負担がふえている。子供たちの早期治療のためにも支援員の増員などが急務と、深刻な問題が報告されました。また、時間外、いわゆる残業が小学校で月に50時間、中学校では100時間などと報告されました。この数字は、先ほどの80時間の過労死認定の時間を大きくオーバーしているものです。これは大きな問題です。

山形県の場合、「さんさん」学級の少人数学級が実現しています。ところが、長井市の学校現場でも、朝に職員室を出て教室に行くと、子供の対応で目が離せない、また、授業の準備など、放課後まで一度も職員室に戻れない、休日でも学校に出てきて仕事をしているなど、現場の先生方の多忙、そして、長時間労働が問題となっています。

教職員の長時間労働の改善は、支援員などの増員や部活などに係る時間の軽減など、さまざまな工夫が必要だと考えます。文部科学省では、30年度予算案で多彩な人材の参画による教育向上、補習等のための指導員等派遣事業として、前年度より2億円多い48億円が予算案として示されました。この中身は、学力向上を目的とした学校教育活動支援に31億円、スクールサポー

トスタッフの配置に12億円、中学校における部活動指導員の配置に5億円とし、教員と多様な人材の連携により、学校教育活動の充実と働き方改革を実現の目的とされています。しかし、実際には、現場にどのくらいの予算が来て、どのように改善できるのかわかりません。私たち文教常任委員会では、このことを深刻に受けとめ、解決に向けての話し合いもいたしましたが、残念なことに具体化の方向には至りませんでした。

しかし、先日の協議会で安部文教常任委員長から、学校現場の視察などを行い、このことについて考えていきたいと提案がありましたので、長井市の問題の解決のために前進できればと期待しています。

そこで、長井市の教員の長時間労働や支援員の増員要望などの現状をどう受けとめ、そして、改善に向けどのようになさるのか、教育長にお考えを伺います。

以上、市長、教育長に明確な答弁をお願いし、壇上からの質問を終わります。

○**洪谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 共産党の今泉議員のご質問にお答えいたします。

議員からは、私のほうは大きく2点いただいております。順次お答え申し上げます。

まず最初に、新市庁舎建設について、市提案の問題点の指摘と新たな提案ということでご提言をいただきました。

まず、冒頭で、先ほど安部議員のほうにもおわび申し上げましたけれども、私ども、私も含めて担当課も、議会のほうでつくられた特別委員会、今年の6月にもうつくられてるわけですが、その特別委員会のほうには丁寧に説明をさせていただいておりますので、ある程度、議会内のご理解は深まっているというふうに思っております。計10回ほど行ってるはずでございますし、あと、駅のところも現場も見ていた

だいたと。それから、その後、県外の視察もされたということですから、去年の夏ぐらいには、駅あたりが有力だということで、一般質問などでも、決めたのかと、勝手に決めるなというようなおしかりなどもいただきましたけども、あくまでも候補地として申し上げたわけでございます。

最初に、ヨークベニマルの跡地は、民間の開発が本当にあるのかと。市庁舎建設の候補地としては不適當なのかというようなご質問、ご提言がございましたけれども、以前も申し上げましたが、ヨークベニマルの敷地につきましては、6,000平米弱ということで、少し面積が足りないということはお話ししておりました。したがって、ヨークベニマルに駐車場を、平らな土地ということで求めるのであれば、以前の県道を挟んだ向かい側の駐車場のところを確保しなきゃいけないと考えておりましたが、所有者である民間のほうでさまざまな計画があるということと、なかなか民間には、譲ってもらえなすかっていうことはちょっと言えませんでした。

例えば、山形鉄道の場合ですと、山形鉄道の合意をもらえば、土地そのものは、まずは庁舎を建てる場所としては、駅の、もともとの所有地と山形鉄道の無償譲渡で市の土地になったところがありますので、そこに、駐車場は足りないかもしれませんけども、建物はとりあえず建てられると。だから、国の交付金をいただけるような事業には間に合うと。ただし、建物が建っているところについては、本当、これ、大げさじゃなくて、非常に時間がかかるんですね。例えば、後でも説明させていただきますが、ヨークベニマルのところはそんなに時間がかからないとは思いますが。いわゆる用地測量ですね。グンゼさんのところはもう非常にかかる。実際見積もりとか測量会社に何回も何回も確かめても、1年から1年半はかかると。急いで1年だと。しかもその建物の評価っていうのは、これ

はきちんとしなきゃいけません、私ども公的団体ですから。そうすると、評価をちゃんとして向こうもその評価に基づいて金額の折合いがつかないとだめですよ。それから不動産鑑定とか土地の場合はしなきゃいけないということで非常に時間がかかると。

したがって、ヨークベニマルさんのところについては、タウンセンターですね、単純に言って、面積が1,800坪ぐらいしかないわけですから、建物が使っていないわけですから、私どもは建物を買うということはできませんので、土地代から差し引きになるんですね。そうしますと、あれぐらい大きい建物ですと、聞くところによりますと、2億から3億かかるんじゃないかと。相当広いです。土地代が幾らかと。仮に坪20万円、こんな高くないと思いますよ。20万円だとしても1,800平米で3億6,000万円じゃないですか。そうすると、1億円から2億円ぐらいの間しか残らないわけですね。それで果たして譲っていただけるかということがあって、私個人としては、民間のほうで模索されているんだったら難しいなと。なおかつ駐車場を県道を挟んで向かい側に確保するというのは、やはり、市民にとっては決して利便性が高くないと思っておりましたので、これは時間的にも、あと、コスト的にも難しいというふうに個人的には思っておりました。

市としては、当事者でありませぬので、ヨークベニマルといいますか、タウンセンターの利用については、民間の所有者のほうから声をかけていただければ、ぜひ使ってくれと、本当だったらあるはずなんです。あれだけ場所を探して、いきなり買って決めてませぬので。ですから、そういった意味では、当事者でない者が進捗状況もちょっと何回も聞けませんしね。あくまでも民間のほうに努力をお願いして、早くスーパー等々の誘致をしていただければと。その場合は新しく建てると聞いておりますが、

それで我々にできることがあれば、ぜひ全面的に支援をさせていただきたいと。いろんなところをお願いに行ったり、市として。そういったことは考えているところでございますが、今回の平成32年度までの事業の実現性を考えると、候補地としてはちょっと難しいと考えたところでございます。

続きまして、2点目の長井駅の場所は駅の駐車場として残すべきじゃないかという考えです。

やっぱりこれもいろんな考え方がありまして、具体的に、今泉議員からは、グンゼさんの土地がいいんじゃないかと。私どももグンゼさんというのはもちろんいいと。ただ、大きい通りに面しておりませぬので、そこがちょっと将来的には禍根を残すかなという感じはしたんですが、例えば駅前通りあたりをうまく使えば、グンゼさんの建物がない全くの更地っていうのは一部分なんですね、建物がありますので。そんなこともあるんですけども。

中心市街地活性化基本計画を立てるときに、長井の特徴として2つ玄関があると、それは、山形鉄道の長井駅、もう一つは、国道287号線だ。そこの拠点としてタスがあつたり、文化会館があつたり、そして、今度新しくできた観光交流センターがあるわけですね。そこで、車でいらっしゃる方にはいろんなところがあるんですけども、鉄道は、もう長井駅しかない。その長井駅は、随分いろんな方から指摘されていたんですが、私は長井駅って、好きなんです。景観もいいし。ところが、外から見た人は、複数の人が言われたのは、今はいいけども、もし本当に中心市街地活性化するんだったら、あの駅は何らかの形で保存したとしても、駅ではふさわしくないって、実は何名の方からも言われました。それは外観はいいんですけど、中の機能が全くだめなんですね。今後、長井がこれからも西置賜の中心の市として生き続けるには、持続可能なという考え方としては、駅自体もも

う少し考えていかなきゃいけないと以前から思っていました。

駐車場の場所として残すべきだということなんですが、議員からいろいろございましたんで、これは時間ありませんので省略をさせていただきたいというふうには思いますが、実は、栄町の説明会を一番最初にさせてもらったんですね、当事者ですので。いろいろ聞かれたことは、この間の説明会でも、今泉議員も宮の説明会、いらしていただいてたんで聞いていらっしやっただと思うんですが、非常に具体的な心配をされてるわけですよ。工事車両はどこ通るんだと。騒音はどうなんだと。あと、交差点はどういうふうに変えるんですか。駅前はどうなるんですか。それはやっぱり場所が決まらないと、もう全て架空ですもんね、あやめR e P oも。普通は我々自治体はああいうのを出さないと、イメージは。

先ほどウナギの寝床ってありましたけども、あれは一つの例なんですよ。結局場所を決めていただいて、そうすれば、周りの商店街とか事業者の方、あと、民家の方に相談できるんですよ。もし、例えば補償させていただきますんで移転お願いできますかと。あるいは、日照権の問題でここまでしかなないんだけど、本当は4階建て、5階建てにしたいんだと。その場合どうですかと。いや、これは困るって言われたら、じゃあ、移転補償で動いていただけますかと。これはやっぱり場所決まらないと、住んでる人に失礼ですよ、商売なさってる方に対して、これは非常に礼を欠くということで、場所が決まらないもんでできないんですが、もし、いい形で国の補助事業等々、観光交流センターもそうなんですけども、例えば今度の公共複合施設もそうなんですけども、国の補助事業でそういったことができれば、これは十分可能性としてはあると。

もともと都市計画のマスタープランのほうで

も言っていた駅前広場。今泉議員おっしゃるように、私は今の今泉、今泉駅じゃなくて長井駅ですね。広くないですよ、よくないと私は思っています。今泉駅と対して変わらないですもん、長井駅。やっぱり長井市の表玄関の中心の駅としては、ちょっと私はかなり落ちると思ってます。ただ、例えば成田駅とか、あやめ公園駅とか、南長井駅とかはいいんですよ、あれで。住民の本当の市民の利用する、高校生の利用する駅ですから。けども、長井駅に相当いろんな方が、長井ってということで、表玄関にいらっしやるときにやっぱりびっくりするそうです。いや、田舎っぽいところは田舎っぽいところではないところもあるんですけども、果たしてこれからその利便性を考えたらどうかなというふうに考えますと、いろいろ問題があると思ってます。

敷地はウナギの寝床のような細長い使い勝手の悪いものということなんですが、具体的には、さっき場所をもしお決めいただいたとすれば、そこですよ、具体的に周りの方々と本当具体的な相談をして基本設計を組みますんで、場合によっては、きちんと補償するんだったら移転してもいいよという方がいらっしやいましたら、そこは何かの形で、駐車場とか、道路とか、緑地とかいろいろ使えるわけですよ。もともと駅の周りのところは、駅前広場ということで、移転をということをお願いしていくということを都市計画のマスタープランには上げてあるようです。それは私はわかりませんが、12年のときの計画だそうです。したがって、具体的には、場所については、今回、今泉議員からご提案いただきましたけども、私どもは、議会のほうで、いや、こっちのほうも候補としてあるんじゃないかということであれば、最終的に議案としてまとめる前に、議会の中で例えば2つ3つ案あったら、どこをするか最終的には多数決だとは思いますが、で絞っていただいた案でも私はいいと思ってますので、例えばグンゼで

もいいと。ただし、かなり厳しいと思いますよ、国の補助を受けるのは。ですから、そういったことを勘案して、じゃあ議会として支援も間に合わなくてもしょうがないと。ただ、あそこがいいということであれば、そういった方法もあると思います。

したがって、段差の問題などもございますが、確かに議員おっしゃるように、1.5メートルから2メートルぐらい段差があるんですよ。ただ、いわゆる道路として整備してる状況から見ますと、長井駅のところから旧イタガキスポーツ、羽田新聞店前までのあそこの交差点ありますよね。あそこまでの勾配が1.0%ぐらいなんです。とって1.5%と。ですから、何百メートルもあるものですから、勾配とすれば、そういううまく処理できるということです。ただ、今のままの市役所の駅の敷地だけだと、そのところは、今泉議員おっしゃるように問題あると思います。したがって、それは場所を決めていただいたら、どこまで周りの住んでいらっしゃる方、利用者にとって安全でいい基本設計をつくるかということが課題だと思ってます。

あと、河川については、つけかえが必要になるんじゃないかということですが、駅の敷地とグンゼ敷地の境界の段差部分にせせらぎ水路っていうのを10年前ですね、つくっておりますが、段差解消にあわせて暗渠ですということなどもできますし、あとは、長井タクシー側の水路、結構水量があるんですね。この段差あるところは、きのう、おととい、ピコ水力発電のシンポジウムがあったんですが、実は、私どもああいうピコ水力なんかで使いたいんですよ。市役所のそんな大した電力じゃないんですけども、せめて外灯とか、何かそういったものを使えるんだらうというふうに思ってますので、段差があるっていうのも実はうまく水を使う要素でありますし、あと、前々から長井駅か

らずっと国道287号線まで勾配ありますんで、大した勾配じゃないんですけども、そこに駅前通りの街路事業、歩道もあるんですが、さらに広げるというふうに県とは協議して進めてますんで、そのときにはせせらぎ水路を駅前通りに出せないだろうかと、そういった、水がいっぱい集まってくる、むしろいい場所だと思ってる場所でございます。済みません。長くなりましたんで、早く前に進めます。

駐車場として購入するグンゼの敷地は適切かと。細長く市庁舎に対してL字型となり使い勝手が悪いと、市民サービスの低下になるということですが、これは確かに今のイメージ図ですとそうなるんですが、配置案としてもL字型の配置をしてますけども、先ほどの答弁と同じように、詳細については基本設計でいかようにもできると。基本設計組むときに、なかなか今まで具体的な話ができなかったのが詰められなかった部分も詰められれば理想の形に、今泉議員おっしゃっていただいたようなことも可能だと思ってます、あとは、例えば仮にどうしてもひょろ長くならざるを得ないということであれば、駅前通り沿いに窓口機能を1カ所に集めると。市民がいろんなところに行くんじゃないんで、窓口機能を1カ所に集めて、職員が、もし例えば、これ福祉のほうだ、障害のほうだ、あるいは子育てだったら、すぐ職員が来ると、窓口までですね。そして、相談の部屋とかプライベートも保てる、そういった相談室などはいっぱい確保できますから、そういったことで幾らでも対応できると思っております。

具体的な提案ということでございますが、次に、問題解決の新たな提案として、市庁舎建設は市民の利便性を第一に考え、グンゼの土地を購入、そこに建設ということでございます。山形鉄道への補償費を市庁舎建設の土地購入に充てて問題解決に充ててはどうかというご提言ですが、グンゼの土地については、私ども公共施

設で使いたいと言ってますけど、なぜかという
と、公共施設は土地と建物の補償が補助対象に
なるんですよ。ですから、市のほうの庁舎は全
く自前ですよ。ですから、そのところは、
市のところはできるだけ自前でやって、金のか
かる部分は複合的な、市と隣接するところにし
たいという考えと、あと、グンゼさんも非常に、
じゃあ、まちづくりに協力したいということ
を言っていますが、私のほうからいえば、
グンゼさんのところは、使ってるところは、も
う工場なんつったら大変な補償額になります。
営業補償もしなきゃいけないですから。です
から、そういったところなんかはグンゼさんと
相談しながらしていきたいと。ただし、雇用は
きちっと残していただくということで、場合
によっては、市内の違う箇所に工場を建て
ていただくとか、あるいは遊休の工場を使う
ということで、引き続きということで考えて
おります。

やっぱり議会の中でもグンゼの敷地、お
金かかっても庁舎はそこでいいんじゃないか
ということであれば、それは多数決にならざ
るを得ないと思います。1カ所で決めてい
ただければ、全会一致っていうのは一番あ
りがたいと思います。私は駅がいいという
ふうには言ってますが、駅じゃないとだ
めだなんて、そんなわがままなことは
言っておりませんし、ただ、国の支援は
できるだけいただけるべきだと思っ
てますんで、そんなことで、議会の間
でもご検討いただければありがたい
というふうに思います。

ちょっと話が長くなりましたんで少し
言葉足らずになってしまうかもしれ
ませんが、これから人がどんどん
確かに減るんですけども、やはり
市民の検討委員会の中で、若い
人たちが公募委員も含めて3人
いらっしゃるんですけども、
その方々がおっしゃったのは、
役所を建てることによって、
それによって地域が活性化
するよな、そんな場所とか、
そういう建て方をして
ほしいと。私ども複合施設を
隣に建てるという

ことであわせて説明はして
ますが、詳細はまだ話して
ないんですね。そういうこと
によって、やっぱり最後は
人を、幾ら若い人たちに
魅力を感じてもらって長
井に住んでもらうか、残
ってもらうかということ
ですから、それは公共
施設の整備っていうのは、
今あるものがなくなっ
たらこれはもうだめだし、
今あるものをもう一度
再構築して、なおかつほ
かのところのないもの
をつくることによって、
これはソフト施策も同
じなんですけども、長
井が子育て世代にと
っていいまちだと、
住みたいというまち
になるように努力
したいと思っ
ております。

続きまして、2点目の18歳までの医療助成費、
医療費の助成の拡大ということで、これも18歳
まで医療費助成の拡大を図ってはどうかと。子
育て支援の重要な施策として実施すべきだとい
うご提言でございます。

これは以前にも今泉議員から、あるいはほか
の議員からもいただきましたけども、私は基本
的に、小学生、中学生を含めて、就学前のゼロ
歳児から無料化したわけですよ。そこで国も
ちゃんとしてほしいんですよ。これ我々市町村
でやるべきことじゃないと思います。ようやく
2020年に保育料を無料化するという
ことで、これは評価します。けども、医療費を
何でこれだけ子育ての世代の人が苦しんで
るのに、教育費もそうですけども、やっぱり
国ですべきですよ。だって我々大変なん
ですよ、本当に。いわゆる経常収支比率、
上がる一方じゃないですか。固定費に
なるわけですから。1回やったらやめ
られないと。

やっぱり危機感を持ってる、周りの白鷹町、
飯豊町、小国町さんが無料化に走った
んですね。走ったっていう言い方は失
礼ですけど、なさいました。県内では
天童市さんと、あと、置賜の5町と、
あと2つで8市町のはずです。今度、
村山市とか、寒河江市もやりたい
ってくるんでしょうけど、結局我々の
市町村の競争、合戦に

なっちゃうんですよ。これはおかしいと私は思います。ですから、特にまちのほうで、何で我々より財政力がないまちができるかっていったら、あんまり言いたくないんですけど、国の手厚い支援があるからですよ。過疎債のソフトがあるからですよ。ですから、我々が100%自前でやっているとそういった自治体は7割支援してもらってできると。うちも7割だったら、もう給食費だってやりたいですよ、本当に。ところが、全部自前でしなきゃいけない我々は、そこやっぱりある程度、バランスを見てやらざるを得ないと。したがって、いずれやらなきゃいけないと思ってますんで、早くすべきかもしれませんが、このところは思いは一緒です。

長井は、むしろなかなかお金だけではできない教育に力を入れていこうと。早期の国語教育であったり、この間、金曜日に配らせていただきましたけども、読み聞かせとか、子供たちが音読することによって脳の発達を促して、結局今、発達障害の子供がどんどんふえていると。これは我々親の世代、あるいは今の子育て世代の保護者の、我々の子供ですけども、育て方に間違いがあったのかもしれませんが、本当に学校現場は大変ですよ。普通の授業ができないと、学級経営が。そういうふう聞いてます。ですから、そういったことを根本的に解決することも必要だということで、教育のほうは本当にお金を惜しまずにやっています。ほかのところは我慢しても、教育だけはお金をかけなきゃいけないと思ってやっていますんで、ぜひ今泉議員からも、引き続きご提言などをいただければと思います。

○**洪谷佐輔議長** 平田 裕教育長。

○**平田 裕教育長** 今泉議員から私のほうに、教員の長時間労働の改善についてということでご質問をいただきました。

教員の多忙化につきましては、先ほど紹介が

ありましたとおり、全国的に非常に大きな課題というふうになってございます。長井市も例外ではございません。今泉議員ご指摘のとおり、児童生徒への対応等で休み時間や昼休みも職員室に戻れない状況というのが実際でございます。

今年度の6月、最も教育活動が充実すると言われていた6月、これは小学校では学校研究が非常に盛んになりますし、また、中学校では中体連の大会が行われる、その月でございます。ですから、最も時間外勤務が多くなる月というふうに言っているかと思えます。そのときのデータをとってございますが、小学校では、平均で59.4時間、中学校では、100時間を超えまして100.8時間、これが時間外勤務というふうになってございます。もちろんこれは最も忙しいときでございますので、年間をならせば、もう少し低い値になるということもございますけれども、まさに教育現場でも早急な働き方改革が求められているということでございます。

そこで、どういう取り組みをされているかということでございますけれども、国や県に対しましては、先ほどありましたとおり、定数の改善、あるいは少人数学級編制プランの継続ということで、これは教育委員会として要望してございます。それから、学校に対しましては、一部の教員に負担をかけることなく、チームとして組織的に業務改善に取り組んでいただきたいということで指導しているところでございます。また、教材研究、それから準備の時間、子供と向き合う時間を確保するために、これまで取り組んできた行事の精選でありますとか、教育活動の見直しなども行うようお願いをしております。さらには、業務の効率化をさらに図るために、学習指導や生徒指導などの校務分掌ごとにデータファイル化をしまして情報の一元化を図り、さらには、校務支援ソフトを導入しまして、成績処理や通知票の作成などの事務作業が以前よりも容易にできるようにしているところ

ろでございます。

また、特に中学校でございますけれども、部活動指導に時間を費やすことが大変多くなっておりますので、長井市内2つの中学校があるわけですが、両校共通に教育委員会が入りまして申し合わせ事項をつくらせていただきました。そのことを保護者に理解を求めたりしながら、過度の活動にならないようお願いをしたりしているところでございます。また、教員間でも共通理解をしながら、活動日、それから活動時間の適正化を図っているところでございます。

それから、教員の多忙化解消とあわせて、メンタルヘルスの観点から、教員の健康に配慮しているところでございます。各学校で毎月出勤時刻調査を行い、長時間勤務になっている教員には、管理職が直接言葉がけ等をして、改善できる部分について相談を行っております。それから、長井市としまして、今年度より、時間外勤務が多い教職員を対象としまして、管理学校医による面談指導ができる体制をつくったところでございます。さらに、ストレスチェックシートというものを活用しまして、個々のストレス度を測定し、気をつける点について助言をしていただいたり、それから、管理学校医による面接指導を受けたりできる、そういうシステムも構築をしたところでございます。

平成30年度は、国が打ち出しております学校現場における業務改善加速事業、これを活用し、スクールサポートスタッフの配置や中学校における部活動指導員の配置を計画しているところでございます。

学校教育支援員につきましても、配慮を要する児童生徒が非常に増加していることから、困り感に対応できるよう、配置をしながら教員の負担軽減が図れるよう努めてまいり所存でございます。

○**渋谷佐輔議長** 8番、今泉春江議員。

○**8番 今泉春江議員** 市長、教育長には、詳しくご答弁いただきました。ちょっと時間もないものですから、市庁舎建設のことについて、市長に再質問させていただきます。

私が一番問題として指摘してるのは、駅の敷地に庁舎を建てますと、駐車場がすぐ目の前にできないということなんです。やはり今、本当にこの長井の市庁舎を見ても、60年の間に、この狭い敷地で大変駐車場には苦勞したわけですよ。ですから、そこを一番市民の利便性、市民サービスということで、市庁舎も、例えば市長もおっしゃったように、市民課とか、税務課とか、福祉課とかそういうものの前に、本当に車をとめて平らなところからすぐ入られるように、そこをお願いしたいんです。ですから、さっき市長もいらっしゃいましたけども、レイアウトとかあれば1つの案ですというふうなこともおっしゃってましたけども、確かにそうだと思いますけども、それが一番大事じゃないのかな。だから、私は、もう百歩譲ったとしても、駐車場は駅の駐車場も残しつつ、高台のほうには、議場とか、市長室とか、あそこからも車をとめて入られるようにするとか。ですから、本当に市民が利用するのは平らなところで、そしてすぐ目の前に駐車場があると、それが一番市民への利便性、それから市民へのサービスではないかな。

今の状況を本当見ますと、今は向かいに駐車場もできましたから、とめられますけど、歩いて来るにはちょっと危険もあつたりしますけども、やはりそこをしっかりと考えていただいて、最終日までお考えいただき、また、機会がありましたら、いろいろとまたしていただきたいと、答弁もらうにはちょっと時間があれになりました。ちょっと一言でも、差し支えなければ、市長、お願いします。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 時間もありませんので、お答え

しますが、今泉議員おっしゃるように、長井市の公共施設って本当に駐車場をちゃんと整備してなかったですね。ですから、今度の市庁舎については、やっぱりそこをしっかりと考えながらやりたいと思いますので、ぜひいろいろ今後ともご提言などをいただければというふうに思います。ありがとうございました。

○8番 今泉春江議員 答弁いただきましたから、しっかり前向きにお願いいたします。質問を終わります。

○渋谷佐輔議長 ここで暫時休憩いたします。再開は3時30分といたします。

午後 3時08分 休憩

午後 3時29分 再開

○渋谷佐輔議長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

市政一般に関する質問を続行いたします。

赤間泰広議員の質問

○渋谷佐輔議長 順位5番、議席番号10番、赤間泰広議員。

○10番 赤間泰広議員 本日最後の一般質問となりました。皆様大変お疲れでしょうが、いましばらくよろしくお願ひ申し上げます。

公明党の赤間泰広でございます。

初めに、今冬の豪雪において被災されました方々に対して心よりお見舞いを申し上げます。

さて、大震災から間もなく7年がたとうとしております。公明党は、全党一丸となって風化、風評と闘い、さらなる復興支援に全力で頑張っている所存であります。

それでは、通告に従いまして質問をさせていただきます。

初めに、豪雪対策についてであります。

ことしの長井市における豪雪被害の現状と今後の対策について、高齢者、生活弱者へのさらなる支援についてお尋ねいたします。

ことしは例年になく、また、数年に1度と言われているように、日本各地で豪雪による被害が出ております。長井市においても、市民生活に多大な影響が及ぼされております。既に平成24年度から、長井市高齢者生活支援除雪サービス事業が実施されております。さまざまな制約条件により、1万6,000円を年間2回まで利用できる支援事業であります。果たして実情に沿った事業になっているのかと言われれば、少々問題があると言わざるを得ません。職員の方々は、条例に沿って誠実に仕事をなされているわけであります。そのことに対しては敬意を表するものであります。

また、間口除雪についても真剣に考えていかななくてはならないときと考えます。規則、条例を変えていくのは行政であり、議会である私たちと思ひます。今後、見直ししていくべきときと考えますが、市長のお考えをお聞ひいたします。住んでいるところの積雪量、場所、所得要件の見直しなどについてもあわせてお尋ねいたします。ことしは本当に大変であった、これでもかとの降雪に、それに寒さが加わって本当に大変だったということもぜひ頭の隅に置いていただきたいと思います。

次に、長井市の基幹産業である農業への支援についてであります。

昨年12月25日、26日の強風、1月24日から28日の豪雪による農業用ハウスの倒壊や破損についてどのような被害状況なのか、また、市として今後どのような支援をされていかれるのかお尋ねいたします。

2番目、次に、有害鳥獣駆除についてであります。